

## AI に関する暫定的な論点整理（2023 年 5 月 26 日 AI 戦略会議） （著作権関係抜粋）

### 3. 主な論点の整理

今回の論点整理の主旨の一つは政府への提案である。政府の役割としては、AI の最適な利用に向けて、リスク対応に関する政策の実施が大きいと考えられる。リスク対応は、困難に直面する方への対応という意味でも重要であるが、AI を開発・提供する方が存分に活動できる環境を整える意味でも重要である。このため、まずリスク対応に関して論点を整理する。その後、AI の最適な利用、AI 開発力について整理する。

#### 3-1 リスクへの対応

##### 懸念されるリスクの具体例と対応

##### ⑥ 著作権侵害のリスク

生成 AI がオリジナルに類似した著作物を生成するなどの懸念がある。生成 AI の普及によって個々の権利者にとって著作権侵害事案が大量に発生し、紛争解決対応も困難となるおそれもある。一方で、生成 AI を利用して映像制作を効率化する例もある。クリエイターの権利の守り方、使い方は重要な論点である。

政府は、まずは現行の著作権法制度を丁寧に周知すべきである。今後、専門家も交えて、AI 生成物が著作物として認められる場合、その利用が著作権侵害に当たる場合や著作物を学習用データとして利用することが不当に権利者の利益を害する場合の考え方などの論点を整理し、必要な対応を検討すべきである。